

講師のひとりごと

「ぼんの一言」

先日、友人の結婚式に参加してきました。今年の正月に『結婚します』と連絡が来て以来、非常に楽しみにしておりました。

楽しい余興もあり、宴もたけなわで、残すは新婦のご両親への手紙と、両家代表挨拶を残すのみになりました。私の席は、私も含めた新郎の友人六人でした。初顔合わせでしたが、お互いお酒も飲み和んだ席で事が起きました。

近くのテーブルにいた若い出席者が、突然私共のテーブルに近づき、ひよいとほとんど呑まれていないビール瓶を持っていったのです。そしてそれを使って先輩らしき人にお酒を注いでいるの

お奨め図書のコナー

『成功をめざす人に知っておいてほしいこと』

リック・ピティノ
ディスカヴァー・トゥエンティワン社

人によって成功とは様々ではあります。成功するためにはそれに見合う努力をしなければなりません。「成功に値する人」になること「自尊心」を持つことが必要であり、持続させるための努力が必要なのだとは述べられています。読みやすく、各項目に分かれており、ポイントも押さえられているため非常に読みやすい一冊です。また、著者がバスケットボールの監督

です。

私達六人はあまりの突然の事に唖然となりました。何も言わず持って行かれては誰だって驚きますよね。

その時は宴席という中で皆抑えているのですが、披露宴が終わってからは怒りが爆発。この事を本人に直接一言言うべきか、それともめでたい席に免じて穏便にすべきか。テーブル内で多数決を取るといふ動きにまでなり、非常に後味の悪い最後となりました。

結果としては、本当に我慢できなかった一人が、結局言いに行っただけです。

たった一言持っていくときに「持っていったら良いですか」と一言断ってければ良かったのです。しかし、この

をしているためかリーダーの在り方についても考えさせる内容となっております。本当に重要なことはスポーツもビジネスも関係なく共通するものだとわかります。

『ラーメン二郎にまなぶ経営学 大行列をつくる26(シロ)の秘訣』

信州大学 経営大学院 准教授
牧田 幸裕 (ダイヤモンド社)

一時間待ちは当たり前前、連日大行列をつくるラーメン二郎。「なぜ二郎は

時持って行った人には、その配慮が欠けていました。でもこれは職場でも同じはず。たった一言が非常に重要です。氣遣いの一言を忘れてはいけないと改めて感じた出来事でした。



人気なのか」を経営学の観点から分析して述べられています。二郎に並ぶ人たちはその多くがジロリアンと呼ばれるヘビーユーザーです。その多くの人たちが二郎に心を奪われた理由を明確にすることで、日本企業の競争力強化のヒントを得たいという著者の狙いがあります。そして経営学を学んだことが無くても理解しやすい言葉遣いで書かれている為、新人にも興味を持って読んでもらえると思います。



ビジネス教育訓練所(株)

所在地 仙台市青葉区愛子中央3-16-2
TEL 022-392-5511
FAX 022-392-5039
URL http://www.business-k.co.jp

編集後記

日毎に暖かくなり、冬枯れの雑草が緑色に変色し若草が生え、樹木に新芽がはじめるこの季節がまたやってきました。生き物たちが冬眠から目覚めるように、人々も異動や入学・入社・卒業と一つの区切りを迎える時期でもあります。

思い返せば、昔は道端に咲く雑草にも目を向け、春の訪れを感じたものでしたが、最近では日々の生活に追われ、自然の変化にも気づかず心のゆとりを無くしてしまっていたように思います。四季の移り変わりがはつきりとしている日本に生まれてきたのですから、時には立ち止まって景色を楽しみ余裕を持ちたいですね。この季節は少し道を歩くだけでも自然の様々な表情を見ることが出来ます。皆様も少し立ち止まり、自然を愛でてみては如何でしょうか。新しい発見があるかも知れませんよ。

ビジネス教育訓練所株式会社
閃光編集部 スタッフ一同

閃光

平成二十三年弥生号



Business

創業二十五周年

会社を創業して早いもので二十五年経過した。スタートした時はやっていけるかどうか若干不安はあったものの夢と希望に満ち溢れ、無我夢中で仕事にぶつかっていた。一人で始めたので、営業・研修・事務・その他すべてこなさなければいけない。当然選べる間を惜しんで、働かなければいけない時も多々あったが、辛いとも苦しいとも疲れたとも思わなかった。否、感じる暇もなかったのかもしれない。仕事が続く、疲労と寝不足で歩きながら眠り、夢を見たこともあった。今思えば、「よくやってきたなあ」「獅子奮迅の働きをしていたんだなあ」と懐かしく思い出される。そんながむしやりに働いて頑張ったことが会社の土台づくりとなったのだろう。仕事が一人で手には負えず、利用企業も増えるにしたがって、社員を一人二人と採用し、まだまだではあるが十人ほどの小企業になった。二十五年の節目となる今年は、わが社の社員の育成に力を入れ、より多くの企業の社員教育に貢献しなければという強い思いでいる。他企業の社員に全身全霊で教育に当たっていたが、還暦を過ぎた現在、わが社の社員の育成にもこれからは全身全霊で取り組み覚悟でいる。現状の社員のレベルは低いと言わざるを得ないが、彼らの平均年齢が二十代と若いことと、能力はともかく意欲に仕事をするということが大変楽しみな社員たちである。後は私の指導次第であろう。二十五周年は単なる通過点なので、今年は第二創業の年とし、より上の企業づくりを目指し、経営者として精進をしていくつもりつもりである。

ビジネス教育訓練所株式会社

代表取締役 三塚 信二

営業マン特訓五日間合宿

二月八日(火)〜十五日(火)

二月の営業マン特訓五日間合宿には、北は秋田から南は大阪まで、全十六名の営業マンが集い実施されました。今回は農業資材卸売業、自動車販売業、経営コンサル業、デザイン・印刷業、金属表面処理加工業、包装資材販売業、配管・土木建築材料業等、さまざまな業種が参加し、ベテラン営業マンやトップセールス、新人営業マンなどが入り混じっていました。

入所式の段階から全力の声で臨み他の訓練生に影響を与える訓練生もいれば、声が小さく感情も表に出せず、訓練についていくのがやっとという訓練生もいました。今回集まった訓練生の多くは、目標達成意欲が低く、現状に対する問題意識の甘さがありました。「このくらいでいいだろう」「そこまでやらなくてもいいだろう」という甘い考えが訓練の中で浮き彫りになり、講師から一喝され

今回の規定内に卒業したのは3名で、トップで卒業した訓練生が修了式でこのように述べました。「卒業する人と延長する人の違いは一つ。何とんでもやるんだ、という気持ちがあるかないかです。この言葉を聞き延長した訓練生は深く反省するとともに奮起していました。最長で延長三日の訓練生もいましたが、全員修了となりました。初日は見ず知らずの人たちと寝食を共にし、旧知の仲間となって多くのことを学び、秋保の地を後にしました。皆さんの今後の活躍を講師一同期待しております。

参加者の声

勇気になるものか!

合宿訓練中、私が一番感じた事は「今まで常に自分に限界を作っていた。自分への甘え、後ろ向きな考えがそうさせてきたのではないかと思えます。初日「何故こんな所に来ってしまったんだろう、早く帰りたい」とそんな事ばかり考えていました。しかし、時間が経つにつれ「負けてなるものか!見てる、絶対やってやる!」という気持ちでがんばり強くなっていきました。仲間との絆は一生忘れる事は出来ません。講師の方々の厳しい指導の中にあつた優しさも含めこの合宿訓練に参加して本当に良かったと思えます。絶対プロフェッショナルになって見せます!



感動の修了式

『新入社員』

例年以上に厳しい冬が過ぎ、少しずつ春の足音が聞こえてきました。春は社員教育において新入社員研修が非常に盛んな時期です。多くの希望に満ちあふれた若人が学生気分を払拭し、社会人の一員として第一歩を踏み出す時期でもあります。さて、近年ではこの新入社員が社員教育のポイントとして見直されています。その理由には、学生連の能力が低下していることが一つ挙げられます。目上の人に挨拶ができない、敬語が使えないなど、基本的なマナーができていないだけでなく、基礎知識においても文章力が無い、簡単な計算ができない、更には注意するとすぐに塞ぎ込んでしまう。このような新人を目にすることが多くなっているのではないのでしょうか。

これはなく、礼儀知らずとクレームが起きる事もあるでしょう。計算や文章を考えることに時間を取られ作業効率がダウン。挙句の果てには、社会人としての心構えが出来ていないため、自分を高めようとすることもなく、言われたことを言われたとおりに行う社員に育ってしまいます。それではなぜ、新入社員の能力が低下しているのでしょうか。さまざまな原因が考えられます。学ぶことの意義を知らないために勉強をおろそかにしてきた人もいるでしょう。そして、周りに見本となる大人がいらないことによる原因の一つとして考えられます。近頃はそれのような最新の新人社員に対して、どのように教育、指導していけばよいのでしょうか。



次号へ続く

「今月の名言」

現状維持では後退するばかりである

ウォルト・ディズニー

童話から得る教訓

誰しも一度はイソップ物語を目にしたことがあるのではないのでしょうか。現代にまで教訓として語られる「ウサギとカメ」などの物語は大変有名です。子供の頃に聞いたことのある話から、なんとなくは分かっていても細かい内容までは忘れてしまったという話まで、様々な物語から得られる教訓は、大人になった今だからこそ、もう一度思い出してみたいものがあるのではないのでしょうか。今もなお、語り続けられる物語を四話紹介致します。

犬と肉

ある犬が、肉をくわえたまま橋を渡っていました。ふと下を見ると、見知らぬ犬が肉をくわえてこちらを見ています。犬はその肉が欲しくなり、脅すために吠えました。すると、くわえていた肉が川に落ちて流されてしまいました。もう一匹の犬は、水面に写った自分の自身の姿だったのです。【教訓】欲張ると、元も子も無

雄鶏と宝石

雄鶏は、何か食べるものはないかと土をひっかいていました。そのとき、偶然宝石を見つけたのです。雄鶏はこう言いました。「ほうっ！落とし主がこれを見つけたらさぞ喜ぶだろうな。でも俺にとっては、世界中の宝石よりも妻一粒のほうがずっと大切さ。」

狐と鶴のご馳走

意地悪好きの狐が鶴に「ご馳走からいらっしやい」と招待し、やって来た鶴にわざと平たい皿に入れたスープを差し出しました。鶴はクチバシが長いので飲みません。それをしながら狐はおいしそうにスープを飲んでいました。狐は「先日はご馳走をありがたう、今度は私がご馳走するからいらっしやい」と言って、訪れた狐に細長い口の壺に入れた肉を差し出しました。狐はクチバシがないのでそれを食べられません。それを見ながら鶴はおいしそうにクチバシで中の肉をつまんで食べたのです。【教訓】他人を傷つけた者は、いつか自分も同じように傷つけられる。



新人教育特集

鉄は熱いうちに打て!

今年もまた新社会人となる新入社員が入社する季節になりました。当社でも3月13日(日)～と、4月7日(木)～開催される新入社員教育4日間合宿には各企業の新入社員の方々が多数参加され、毎年賑わいを見せます。

まだ右も左も分からない「人財」が熱い想いを抱いている今、学生気分を払拭させ、働く意義を考えさせながら【今の自分に何が出来るか】と常に問い自己研鑽出来る人材になるよう意識改革を図ります。内容としては、挨拶・礼儀・礼節などのコミュニケーションの基本や職場のルールを身につけさせ、社会人としての意識が高いプロのビジネスマンを育成します。具体的には下記のような項目に審査を設け、合格するまで徹底的に鍛えます。

- ◆発声訓練 仕事をするための気迫と気合の増大をはかる。
- ◆即答訓練 質問に対し矢継ぎ早に発表させ、積極性と行動力を養う。
- ◆電話訓練 電話は見えない職場の窓口、会社のイメージが決まる。
- ◆礼儀訓練 礼儀を知るものは強く、知らぬものは没す。礼儀は型より入り、心に通す。礼儀こそ敵をも味方にする最大の武器である。
- ◆命令報告訓練 命令者に素早く5W1Hの要領で質問し、きちんと仕事を行える様実践訓練をする。また、報告の重要性を教え報告の仕方にも訓練し体得させる。
- ◆ケーススタディ 職場における事例を提起し、問題点を発見させ、討議し社員としての正しい考え方や行動が取れるようにする。合宿で組織を理解させるために規律、人間関係をテーマに討論させる。ドラマ訓練と併用。
- ◆ビジネスマナー 職場生活における常識、マナーを知らない社員が多い。ペーパーテストを行い、後で解説する。
- ◆ビデオ教育 仕事の進め方、人間関係、接客の3本のビデオを鑑賞させ、これからのビジネスマンとしてのあり方を認識させる。
- ◆歌唱訓練 感受性やリズム感を養成する。言葉を感じ移入して表現力をつけるのに最も効果的な訓練法である。テストで声の大きさ、気合等も厳しく審査する。
- ◆スピーチ 訓練を通じて自分の問題点、これまでの仕事する上でマイナスとなった問題点を吐き出させ、これからはビジネスマンとしてどう行動していくか具体的に抱負を発表させる集大成。

三月の研修のご案内

■管理者特訓六日間合宿 三月十三日～十八日

管理者としてのマネジメント能力の開発及び、管理者として正しいものの考え方や行動作法を身につけます。部下に対する指導や接し方、職務における自分の行動を振り返り、心技体ともに鍛えながら一回り成長するまで意識改革を促します。訓練を通してリーダーシップが身に付くよう妥

■ビジネス特訓四日間合宿 三月十三日～十六日

基本動作を中心に各審査を通して徹底的に鍛えます。中途採用者やビジネスの基本を今一度しっかり学んで欲しい方にピッタリです。各審査全てを合格しない限り延長となつてしまいますので、仕事に対する姿勢や考えが甘いとお悩みの社員もご派遣頂き大変好評を頂いております。

■営業マン特訓五日間合宿 「特設」四月十一日～十五日

「春に営業マン特訓を」というご要望にお応えして、今回四月十一日(月)～営業マン特訓五日間合宿コースを特設させて頂きました。この合宿では、営業や販売で用いられる基礎技術をはじめ、質問法やアプローチの方法、商品説明の仕方などをロールプレイングを通して徹底的に鍛え上げます。

この他にも三月には、三月四日(金)～営業マン実践三日間合宿、三月十三(日)～新入社員教育四日間合宿が開催され、四月には四月七日(木)～新入社員教育四日間合宿、四月十七日(日)～マナー研修三日間合宿と管理者実践三日間合宿を開催予定です。三月から四月にかけて、大変混雑しますのでお申込みはお早めに!

夢を持ってもらいたい
「時は有限、能力は無限」



賢者.tv インタビュー放映中 www.kenja.tv/